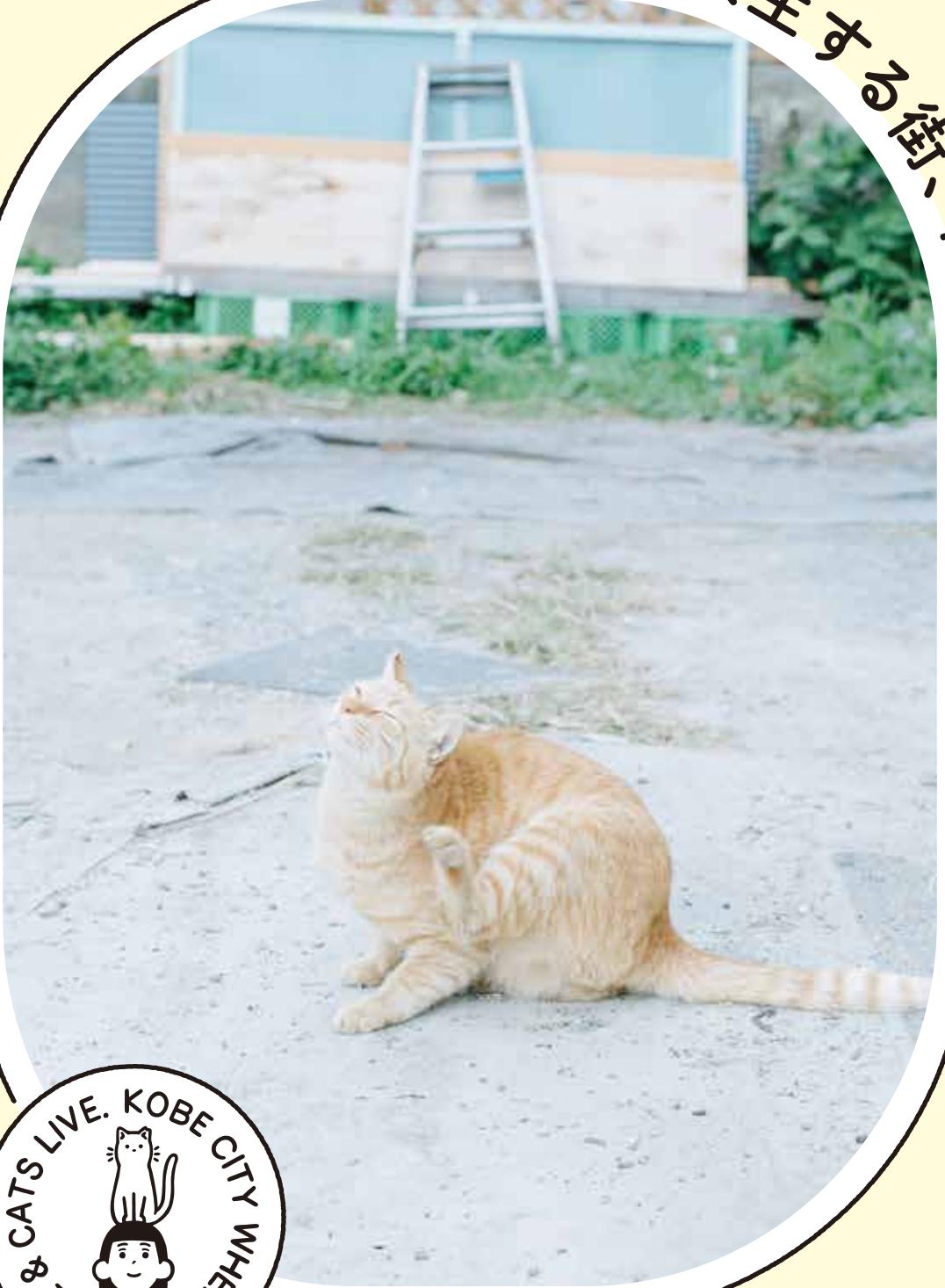


ひとと猫が共生する街、神戸



神戸は、人と猫が共生する街を目指しています



きもちよさそうに日向ぼっこしている猫たち。でも、どこかの誰かにとつては、迷惑だと感じさせてしまっていることがあります。例えば、ふん尿の匂いだったり、鳴き声だったり。神戸市にはそんな猫による苦情が寄せられています。

神戸で生きる人と猫。どうしたらともに生きることができるのか。猫とどのように付き合っていくのがよいか、ということを考え出来たものが、「神戸市人と猫との共生に関する条例」です。野良猫によるトラブルとさつ処分をなくすため、協議会をたちあげ、野良猫の不妊去勢手術に関する事業や猫の新しい飼い主を探す活動などを行っています。

今、神戸でこの活動に取り組んでいる人たちに話を伺いました。

”数ヶ月限定、
猫たちのお母さんになる
”ミルクボランティア



保護された子猫たちには、残酷ですが、さつ処分という道が存在しています。現在の猫のさつ処分のほとんどは、子猫。そんな子猫たちを救おうと、神戸市では動物病院と連携し“ミルクボランティア”という取り組みが2016年から行われています。ミルクボランティアは、保護された子猫の授乳、体調管理を務める、お母さん的な役割。目が開いていない子猫が保護されることもしばしばで、一匹一匹様子を見ながらつきっきりでお世話が必要です。子猫は、人間の赤ちゃんと同じで、ミルクは3～4時間おきにあげるそう。ですから、病院の看護師さんたちは、子猫のお腹を触るだけで、お腹の空き具合がわかるようになります。「子猫たちが、病院を離れる時はやっぱり、寂しいですよ。でもいっぱい可愛がってもらえる場所が見つかることは何より嬉しい。里親さんが見つかって、その数ヶ月後に通院するときにはシャー!とか言われちゃったりするんで、猫らしいな～って笑っちゃいますよね」。

取材協力：神戸市西区 ライフ動物病院



猫たちの 新しい家族を 探す場

保護された猫たちの新しい家族を見つける場所。それが譲渡会です。猫たちにとっては、一生涯の家族と出会う場所でもあります。飼い主になる人たちには、可愛いだけで猫を選ばず、きちんと猫それぞれの特徴や個性を理解することが大切です。何より、譲渡を受ける前には、今の自分は猫を迎えることができる環境にあるのか、家族全員が同意しているのか、最期まで責任を持って飼い続けることができるのかを考えることが必要です。これから的人生をともにするパートナーですから、猫とともに暮らす人の相性も見極めなくてはいけません。猫を保護している方との面談や、一定期間、その猫ときちんと家族になれるかどうかをお試しする期間（トライアル）もあります。猫を迎え入れるのって、いろいろ大変だな、って思いました？ でも、新しい家族を迎えるのですから。

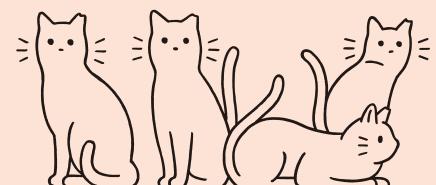


野良猫とどう付き合っていくか



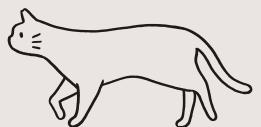
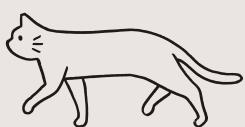
みなさん、「地域猫活動」ってご存じですか？「地域猫活動」とは、地域の理解のもとで野良猫の不妊去勢手術を行い、地域でルールを決めて適正に管理を行う活動をいいます。神戸市の西のエリアで、地域猫活動を行う山田さんと中村さん。地域猫活動を初めて10年。当初は15匹いた猫たちも、今では4匹になったといいます。山田さんたちの一番の課題は、地域猫活動への理解です。どうしても山田さんたちが猫の世話をしていると、猫を増やそうとしている勘違いされることもあるのだそう。世話をしている猫たちには、きちんと不妊去勢手術をして、これ以上猫が増えないようにしています。また、猫は縄張り意識が強いので、きちんと猫の生きる環境を作ることで、新しい猫もよってこないといいます。「今生きている猫たちが悪いわけではない。きちんと天寿を全うしてもらえるように活動しています。

地域猫活動をマンションの共有の場で行うのは、賛否両論があるからこそ、猫たちの食餌時間を決め、糞尿の掃除と花壇の手入れを徹底的にしてるんです。」と話す山田さんと中村さん。中村さんが毎日お手入れをする花壇は、神戸市のコンテストで表彰されるほどの美しさ。最終的には、ここにいる猫もみんな亡くなるときがくる。寂しさはあるけど、このような活動を続けることで野良猫が減っていくこと。それが大事。



猫たちを見守る、人たちの輪

神戸市のとある街に、不妊去勢手術を終えた猫たちが穏やかに暮らしているという話を聞き、地域で愛される野良猫ナンデスに会いに行きました。野良猫が不妊去勢手術を受けている目印が、猫の耳にあるカット（耳カット）。不妊去勢手術は、猫が地域で繁殖を繰り返さないようにするためにとても重要です。かわいそうだと思うかもしれません、飼い主がない猫たちは、悲しい運命が待っていることもあります。そんな猫たちを増やさないための取り組みが、徐々に神戸の街にも浸透してきました。街を訪れた当日、結局ナンデスには会えませんでしたが、チャーちゃんと呼ばれる猫が迎えてくれました。1年前からこのあたりに暮らす野良猫だそう。いつも同じ広場にやってくるチャーちゃんを、美容師さん、八百屋さん、塾の先生たちが交代で面倒を見ているとのこと。1年前は、誰もチャーちゃんに触れることはできませんでしたが、今では、頭をなでることができるまでになったそうです。





人と猫とのハーモニーが聴こえる街、神戸

平成29年の4月にスタートした、『神戸市 人と猫との共生に関する条例』。人と猫が共に生きるための条例です。具体的にどういったものかご存知ですか??これから猫を迎える人、今猫と共に暮らしている人、地域猫に頭を悩ませている人へ。猫と関わるあらゆる人々が猫と共生していくための指針がまとめられています。

※下記本文は、『神戸市 人と猫との共生に関するガイドライン』より一部抜粋しています。



これから猫を
迎える人へ

自分のライフスタイルに あった猫を迎えましょう

子猫の時期から迎えるなら、猫と向き合う時間がたくさんあり、十分に運動させてあげるとともに、人の生活の仕方を教えてあげられる家庭がよいでしょう。成猫は、性格や大きさがわかっており、子猫ほど活発ではないため、留守がちな家庭や高齢者世帯に向いています。成猫から飼いはじめても、きちんと世話をすることで、心が通い合うパートナーとなります。



地域の猫に
悩んでいる
人へ

地域の猫との関係性に
悩んだときに



今猫と共に
暮らしている
人へ

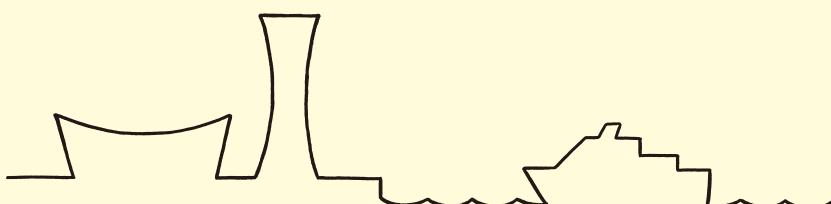
猫と最期までしあわせに 暮らすために

猫は必ず室内で飼いましょう。屋外に出すと、事故や病気のリスクがあるだけでなく、飼い主の知らないところで迷惑をかけ、嫌われ物になってしまうかもしれません。万が一のために、マイクロチップや迷子札もつけておきましょう。また、災害が起きたときに、猫を守ることができるのは飼い主だけです。避難が必要な場合は飼い主と一緒に避難するために、普段からの備えも重要です。

野良猫の世話は、自宅敷地内など自身の管理する場所で行うことが望ましいですが、状況によってはそれ以外の場所で行うこともあるでしょう。公共の場所をはじめとする、小さな子どもからお年寄りまで、不特定多数の人が利用するような場所で野良猫の世話をしようとする場合は、特に配慮が必要です。なお、責任者を明らかにした上で、野良猫の世話を責任を持って行うことについて、近隣に説明をし、周囲の理解を得て、活動することが望されます。どのように管理者等からの了承や周囲への理解を得ればいいかわからない場合は、神戸市の衛生監視事務所に相談してみましょう。



『神戸市 人と猫との共生に関するガイドライン』の
全文は、こちらからダウンロードいただけます。



神戸市ふるさと納税では 「動物愛護支援事業」を展開しています

神戸市では、「神戸市 人と猫との共生に関する条例」などの取り組みにより、人と犬猫が共生できる街を目指しています。その一つとして、さつ処分される犬猫を少しでも減らそうと、保護した犬や猫ができるだけ多くの新しい飼い主へ譲渡する活動を行っています。

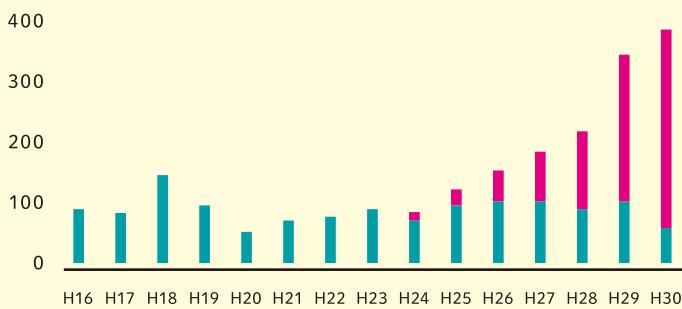
ふるさと納税の寄附金で、このような取り組みに支援をすることができるのはご存知ですか？

離乳前の子猫に数時間ごとに哺乳をし、一般的の飼い主さんのもとに譲渡できるまで育てる「ミルクボランティア」、動物管理センターに保護された犬猫の健康管理、野良猫の繁殖防止などの数々の取り組みは、みなさんからいただいたご寄附によるものです。今も多くの小さな命が救われています。

平成27年度は197頭だった犬猫の譲渡数を、平成30年度には359頭にまで増やすことができました。その他にも、168頭の子猫のミルクボランティアや保護された108頭の犬猫にワクチンや病気の治療を行ったり、野良猫の不妊去勢手術の費用に寄附金を活用したりした結果、さつ処分の頭数を平成27年度から457頭減らすことができました。

神戸市 犬猫譲渡数の推移グラフ

■ 猫譲渡
■ 犬譲渡



神戸市 犬猫さつ処分数の推移グラフ

■ 猫さつ処分
■ 犬さつ処分



●神戸市ふるさと納税についての問い合わせ先

神戸市 行財政局税務部税制企画課

〒653-0042

神戸市長田区二葉町5丁目1-32

新長田合同庁舎3階

078-647-9331

●事業についての問い合わせ先

神戸市 保健福祉局健康部生活衛生課

〒650-8570

神戸市中央区加納町6-5-1

神戸市役所1号館6階

078-322-5264



神戸市ふるさと納税HP
<https://furusato-kobe.city.kobe.lg.jp/>

